

2025年11月期 第2四半期決算及び中期経営戦略説明会

株式会社サーラコーポレーション

2025年7月17日（木）



目次

1. サーラの概要
2. 決算ハイライト 及び 通期業績見通し
3. セグメント別の決算概況 及び 見通し
4. 中期経営戦略について
5. 参考資料

1. サーラの概要

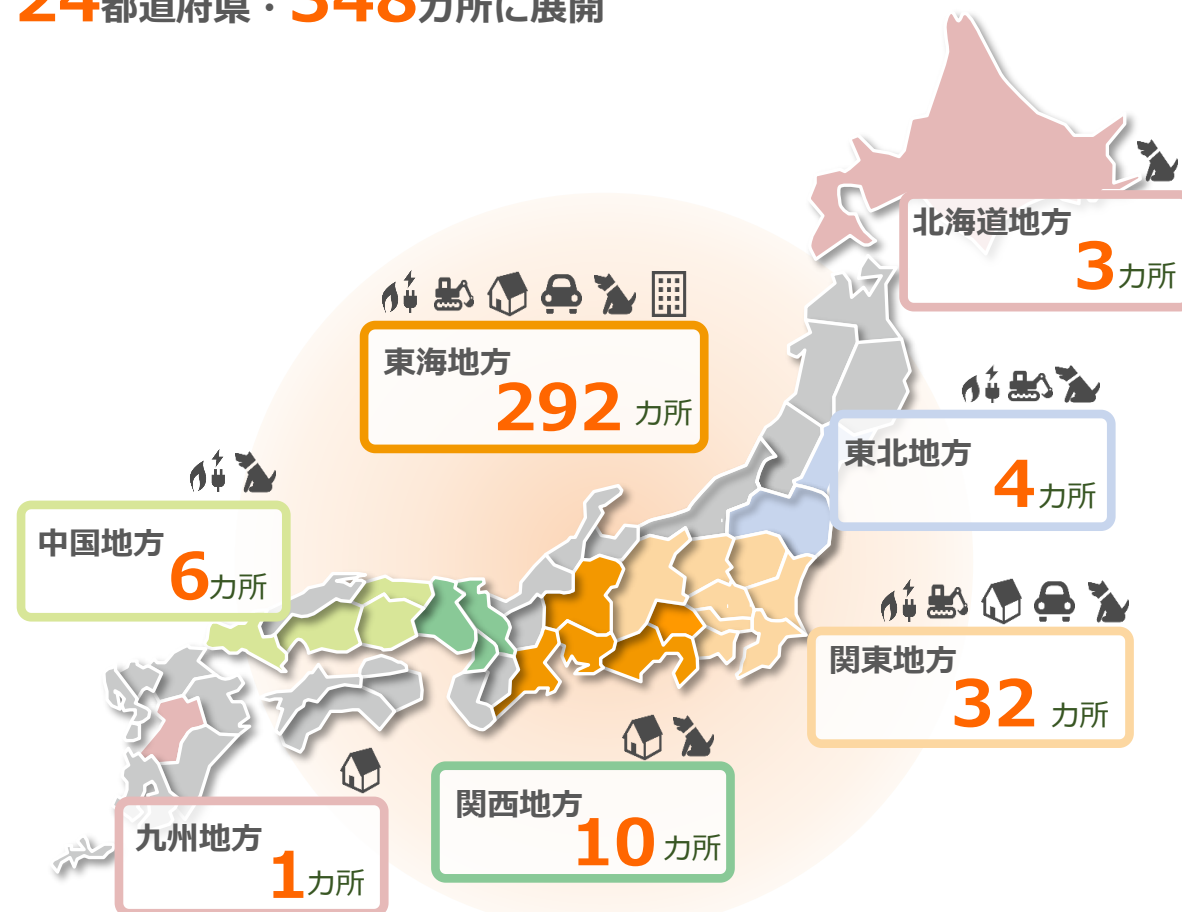
産業が集積するポテンシャルの高い東海地域を中心に、事業エリアを拡大

愛知県東部・静岡県西部を拠点に事業エリアを拡大



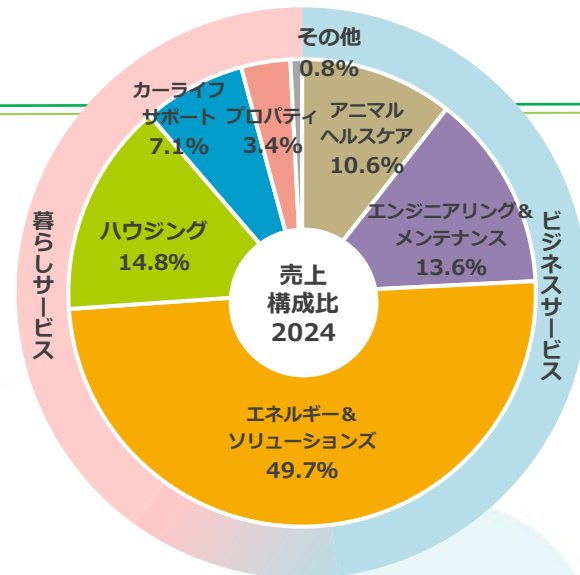
	愛知県東部	静岡県西部
人口	約72万人	約127万人
製造品出荷額	約4.0兆円(2021年)	約6.7兆円(2021年)
農業産出額	約1,600億円(2023年) ※田原市：全国 2 位	約1,100億円(2023年) ※浜松市：全国 6 位
拠点を置く企業	自動車メーカー、自動車部品メーカー、 二輪車メーカー、材料メーカー、ゴム製品メーカー、 電気機器メーカー、金属加工メーカー 等	
特色	三河湾：自動車輸入額全国 1 位、輸出額全国2位	

24都道府県・348カ所に展開



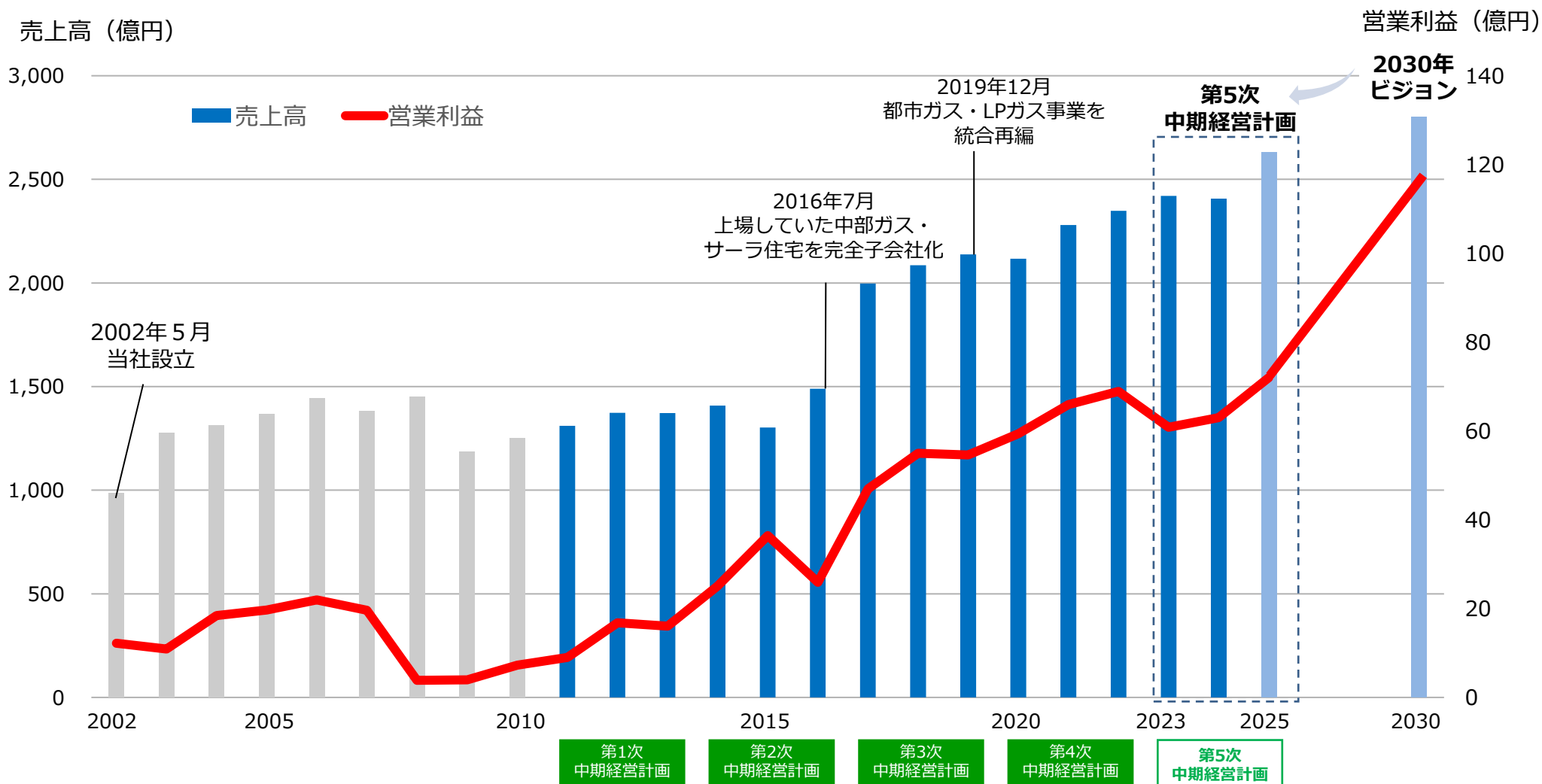
(2025年2月1日現在)

エネルギー事業から始まり、多彩なサービスで豊かな暮らし、ビジネス支援、魅力あるまちを実現



創業	従業員数	売上高
1909年	約5,000名	2,404億円

統合再編とシナジー発揮により着実な成長を実現



2030年 連結数値目標

売上高

2,800億円

営業利益

120億円

営業利益率

4.3%

2. 決算ハイライト 及び 通期業績見通し

- 各セグメントが増収となり、売上高は第2四半期としては過去最高を記録
- エネルギー&ソリューションズ事業及びエンジニアリング&メンテナンス事業が好調に推移し営業利益は20%増益に
- 1Qに上方修正した上期計画に対し、営業利益は+3.8億円の大幅な上振れ着地に、純利益についてもデリバティブ評価損があったものの、+0.5億円の上振れ着地となった

売上高

過去最高

25年11月期 第2四半期

1,312億円

前年同期比

123億円（10.4%）

営業利益

25年11月期 第2四半期

58億円

前年同期比

9億円（20.4%）

親会社株主に帰属
する中間純利益

25年11月期 第2四半期

40億円

前年同期比

▲2億円（▲5.9%）※

※純利益が前年比で減少した要因は、為替予約に係るデリバティブ評価損益が、前年同期の評価益8.9億円に対して、当期は評価損4.3億円に転じ、13.2億円の下方要因が生じたため

(補足) デリバティブ評価損益について

- 輸入材を主燃料とするバイオマス発電事業の為替リスクを低減するために、長期の為替予約を締結し、有利な条件でドル決済を実行している
- 毎期末の未決済残高について為替予約に係るデリバティブ評価損益が計上される。今回は円高に振れたため評価損が生じた
- デリバティブ評価損益はキャッシュを伴わない評価損益のため、配当の計算からは控除している

<デリバティブ評価損益の推移>

		2022/11期末	2023/11期末	2024/11期末	2025/11	
					第1四半期	第2四半期
	期末日の為替予約未決済残高の時価評価損益 (評価損は△)	3,112	4,106	5,183	5,480	4,752
	前期末日の為替予約未決済残高の時価評価損益の洗替 (評価損は△)	△2,225	△3,112	△4,106	△5,183	△5,183
	営業外損益に計上したデリバティブ評価損益 (評価損は△)	886	993	1,077	297	△430

※会計上の処理であり、キャッシュの動きを伴うものではない

※会計処理上、前期末に計上された評価損益を当期に洗替処理するとともに、当期の為替予約未決済残高を時価評価し、評価損益として計上

- 2024年12月に連結子会社化した安江工務店の実績を織り込むなど、売上高及び営業利益は過去最高となる見通し
- 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、デリバティブ評価損益の影響を見通しには織り込んでいないため減少する見込み

売上高

25年11月期 通期見通し

2,630億円

前年差

+225億円 (+9.4%)

営業利益

25年11月期 通期見通し

72億円

前年差

+8億円 (+14.1%)

親会社株主に帰属
する当期純利益

25年11月期 通期見通し

51億円

前年差

▲1億円 (▲2.8%) ※

※前年の業績には営業外収益としてデリバティブ評価益10億円があったことが減少の要因

3. セグメント別の決算概況 及び 見通し

通期業績見通し_セグメント別売上高

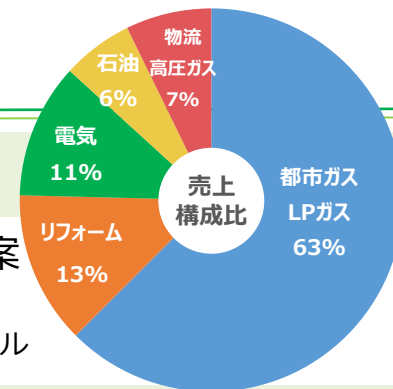
(単位：百万円)	中間			通期	
	2024年11月期 実績	2025年11月期 実績	差	2024年11月期 実績	2025年11月期 見通し
エネルギー&ソリューションズ	64,326	68,010	+ 3,683	119,502	124,000
エンジニアリング&メンテナンス	14,759	17,210	+ 2,451	32,727	34,000
ハウジング	15,511	20,417	+ 4,906	35,626	46,000
カーライフサポート	8,030	9,006	+ 976	17,111	21,000
アニマルヘルスケア	13,067	12,376	▲ 691	25,523	28,000
プロパティ	2,263	3,279	+ 1,015	8,131	8,200
その他・調整額	938	952	+ 14	1,876	1,800
全社	118,897	131,253	+ 12,356	240,498	263,000

通期業績見通し_セグメント別営業利益

(単位：百万円)	中間			通期	
	2024年11月期 実績	2025年11月期 実績	差	2024年11月期 実績	2025年11月期 見通し
エネルギー&ソリューションズ	3,998	5,080	+ 1,081	2,966	3,500
エンジニアリング&メンテナンス	1,316	1,971	+ 654	2,643	2,350
ハウジング	▲180	▲56	+ 123	747	1,050
カーライフサポート	▲238	▲693	▲454	64	50
アニマルヘルスケア	170	▲83	▲254	138	300
プロパティ	6	▲3	▲10	405	450
その他・調整額	▲184	▲327	▲143	▲656	▲500
全社	4,889	5,886	+ 997	6,308	7,200

事業：都市ガス、LPガス、電気、石油製品、高圧ガス、物流サービス、リフォーム

特徴：【家庭用】暮らしサービスの総合提案力 【法人用】グループ連携やCN診断を活用したソリューション提案
 事業環境：【家庭用】CN化・電力需要の高まり 【法人用】CN化・防災対応の需要の高まり
 重点取り組み：CN化への対応を通じた電力事業拡大や生活サービス・ビジネスサービスの拡大 ※CN：カーボンニュートラル



数値計画

単位：百万円

	中間		通期	
	2024年 実績	2025年 実績	2024年 実績	2025年 見通し
売上高	64,326	68,010	119,502	124,000
営業利益	3,998	5,080	2,966	3,500

中間決算の概況

- 売上高は、都市ガスの家庭用、業務用で販売量が増加したため、前年同期比5.7%増となった。
- 営業利益は、都市ガス販売量の増加、及びバイオマス発電所の稼働率の改善による売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費の低減に努めたため、前年同期比27.0%増となった。

重要指標

単位：百万円

	中間		通期	
	2024年 実績	2025年 実績	2024年 実績	2025年 見通し
お客さま件数	535千件	540千件	539千件	546千件
生活サービス利益	1,800	1,900	3,730	4,060
ビジネスサービス利益	760	860	1,560	1,840

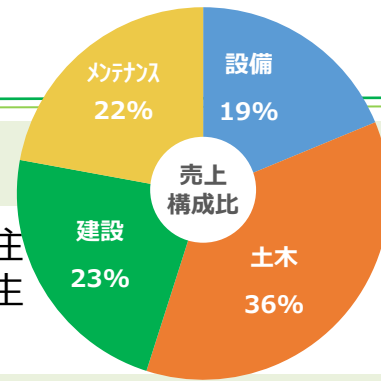
通期業績見通し

- ガス販売は、引き続き堅調に推移する見通し。また、カーボンニュートラルのニーズに対応し、独自の省エネ診断ツールを契機とした環境貢献商材の提案により、生活サービス・ビジネスサービス拡大と顧客基盤の拡大を図る。
 - 成長分野と位置づける電力事業について、安定した電力供給のための調整力の役割を担う蓄電所が、浜松及び豊橋にて今秋より稼働予定。
- 以上により、売上高及び営業利益ともに通期計画を達成する見通し。

セグメント別概況／エンジニアリング&メンテナンス

事業：都市インフラ整備（道路、トンネル、建築、港湾土木など）、設備工事・メンテナンス、システム開発

特徴：自治体からの安定した公共事業を獲得できる基盤、保守メンテナンスによる継続的な関係性構築による特命受注
事業環境：施設の省エネ・創エネ・カーボンオフセット化の需要、道路や公共施設の老朽化による安定的な工事案件の発生
重点取り組み：プロセスマネジメントの改善による収益基盤の強化



数値計画

単位：百万円

	中間		通期	
	2024年 実績	2025年 実績	2024年 実績	2025年 見通し
売上高	14,759	17,210	32,727	34,000
営業利益	1,316	1,971	2,643	2,350

重要指標

単位：百万円

	中間		通期	
	2024年 実績	2025年 実績	2024年 実績	2025年 見通し
設備工事部門売上高	2,663	3,051	5,140	5,370
土木部門売上高	5,227	5,884	11,742	12,531
建築部門売上高	2,863	3,734	7,862	7,100
メンテナンス部門売上高	3,057	3,598	6,724	6,400

中間決算の概況

- 売上高は、設備工事、土木、建築及びメンテナンスの各部門において完成工事が増加したため、前年同期比16.6%増となった。
- 営業利益は、完成工事の増加に加え、プロセスマネジメントの継続的な改善に取り組んだことにより完成工事粗利が増加したことから、前年同期比49.8%増となった。

通期業績見通し

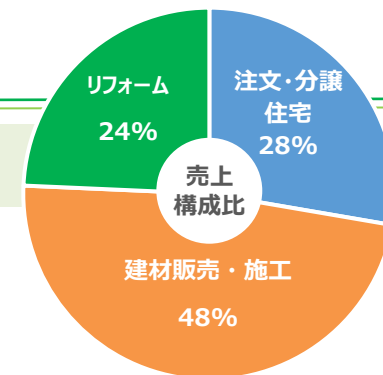
- 受注環境は、安定した公共投資により、工事案件数は概ね順調。利益率の低い大型案件の受注により、利益率は前年を下回るものの、受注高は各部門において前年を上回って推移している。下期は、来期以降の売上につながる受注活動にも積極的に取り組む。
- 業務プロセスマネジメントに継続して取り組むことで、高い利益水準を維持する。合わせて、人材の確保と育成への投資、業務の効率化やデジタル技術の活用を進め、生産性の向上を図る。また、グループ連携によるカーボンニュートラル提案を推進する。

以上により、売上高は通期計画を達成し、営業利益は当初計画を2.5億円超過し、23.5億円となる見通し。

事業：注文住宅・分譲住宅、リフォーム、住宅建材の販売と施工

特徴：【住宅】愛知静岡を中心に高断熱住宅を提供
事業環境：【住宅】着工棟数の減少
重点取り組み：【住宅】高収益帯商品の受注拡大強化

【建材】東海・関東エリアにおける建築資材の販売・施工
【建材】職人不足による施工需要の高まり
【建材】付帯工事範囲の拡大、非住宅分野への進出



数値計画

単位：百万円

	中間		通期	
	2024年 実績	2025年 実績	2024年 実績	2025年 見通し
売上高	15,511	20,417	35,626	46,000
営業利益	▲180	▲56	747	1,050

重要指標

	中間		通期	
	2024年 実績	2025年 実績	2024年 実績	2025年 見通し
新築戸建住宅引渡し件数※	146件	140件	427件	473件
ZEH比率（注文住宅）	35%	43%	37%	50%
住宅部資材加工・販売部門 新規顧客開拓件数	77件	58件	142件	140件

※サーラ住宅、太陽ハウジング、宮下工務店の合計件数

中間決算の概況

- 住宅販売部門は注文住宅の販売件数が減少したものの、住宅部資材加工・販売部門において取引先であるハウスメーカー、工務店等からの受注が増加。また、当期より安江工務店の実績が加わった。

以上により、売上高は前年同期比31.6%増、営業損失は0.6億円（前年同期は営業損失1.8億円）に縮小した。

通期業績見通し

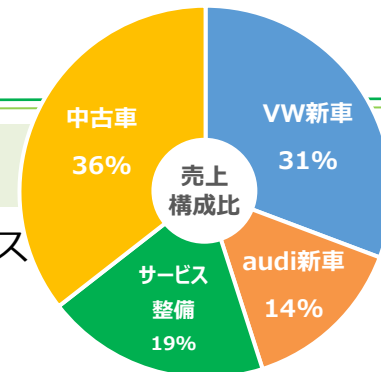
- 住宅販売部門は、注文住宅の受注が順調（SINKAシリーズ前年比124%）。下期に着実な引渡しを行うとともに、建物完成に合わせたプロモーション活動により分譲住宅販売に注力する。
- 住宅部資材加工・販売部門は、新築市場における取引拡大に加え、リフォーム市場や非住宅市場の開拓など、新たな分野での取り組み強化を図る。

以上により、売上高及び営業利益とも通期計画を達成する見通し。

セグメント別概況／カーライフサポート

事業：輸入自動車（フォルクスワーゲン、アウディ）の販売、整備

特徴：愛知静岡東京においてVW10店舗、Audi 3 店舗運営、年間販売台数は同ブランドを扱う法人としてトップクラス
事業環境：【VW】ガソリン・EV新モデル発売予定、新車供給の安定見込み 【Audi】EV新モデル発売
重点取り組み：新車販売部門、中古車販売部門及びサービス部門の連携強化による、事業運営のレベルアップと売上拡大



数値計画

単位：百万円

	中間		通期	
	2024年 実績	2025年 実績	2024年 実績	2025年 見通し
売上高	8,030	9,006	17,111	21,000
営業利益	▲238	▲693	64	50

重要指標

	中間		通期	
	2024年 実績	2025年 実績	2024年 実績	2025年 見通し
新車販売台数	742台	832台	1,353台	2,210台
中古車販売台数	745台	606台	1,806台	1,958台

中間決算の概況

- 国内への輸入自動車の入荷が回復するとともに新モデル導入によりフォルクスワーゲンの新車販売が増加した。また、販売用に仕入れていた中古車の在庫処分を進めた結果、売上高は前年同期比12.2%増となった。
- 利益面は、中古車の在庫処分（損失2.7億円）が大きく影響し、またフォルクスワーゲンの中古車販売台数が減少したことから、営業損失は6.9億円（前年同期は営業損失2.3億円）となった。

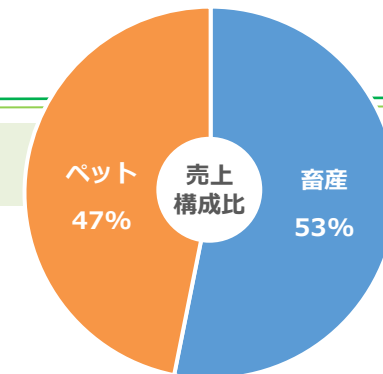
通期業績見通し

- 新車販売においては、管理顧客に対し最適なタイミングでの情報発信を可能とする新システムの活用や、下期導入予定のEVの新モデル「ID.Buzz」を契機とした誘致活動を行い、拡販を図る。
- サービス部門において、車両のボディフィルム施工等の新たな付帯サービスを展開する。

上記の取り組みなどにより、下期は損失を解消し通期の見通しは当初計画▲2.5億円の0.5億円になる見込み。

事業：動物用医薬品、器具機材、機械設備の販売

特徴：本州各地及び北海道で事業を展開。全国の動物病院の約3割が顧客
事業環境：畜産農家や動物病院の大規模化・企業化、オンライン販売の台頭や卸売業の中抜きなど流通チャネルの変化
重点取り組み：エリア別戦略によるシェアの拡大、収益性の向上に向けた事業構造改革の推進



数値計画

単位：百万円

	中間		通期	
	2024年 実績	2025年 実績	2024年 実績	2025年 見通し
売上高	13,067	12,376	25,523	28,000
営業利益	170	▲83	138	300

重要指標

	中間		通期	
	2024年 実績	2025年 実績	2024年 実績	2025年 見通し
畜産部門売上高	6,454	6,600	12,922	14,106
ペット関連部門売上高	6,421	5,819	11,805	13,550

中間決算の概況

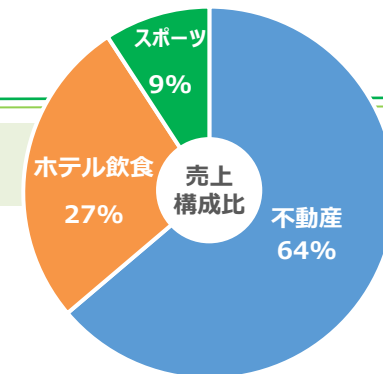
- 売上高は、畜産部門においては動物用医薬品等の受注が堅調に推移したものの、ペット関連部門において仕入先の商流変更により一部の療法食の取り扱いがなくなったことによる影響額13億円等から、前年同期比5.3%減となった。
- 営業利益は、ペット関連分野における商流変更の影響に加え、現在進めている営業活動から配送業務を切り離し、営業活動に特化するビジネスモデルへの変革に伴い販売費及び一般管理費が増加したため、営業損失は0.8億円（前年同期は営業利益1.7億円）となった。

通期業績見通し

- 営業と配送の分離・倉庫集約化が完了することにより創出された時間を最大限活用し、営業力強化を図っていく。
 - 新規顧客開拓とローシェア顧客深耕によりシェアの拡大を図るとともに、プライベートブランド商品や重点商材の販売に注力する。
- 以上により、通期の営業利益は黒字転換を見込み、計画達成を目指す。

事業：不動産賃貸・売買、ホテル、飲食店、スポーツクラブの運営

特徴：コアエリアに根差した地域密着型の事業を展開、行政との連携により駅前再開発や地域活性事業を推進
事業環境：人口動態や生活・労働スタイルの多様化に伴う不動産活用ニーズの変化、外国人居住者・観光客の増加
重点取組み：【不動産】流通取引の拡大と投資事業の確立 【ホテル飲食】部門横断の営業活動による需要獲得



数値計画

単位：百万円

	中間		通期	
	2024年 実績	2025年 実績	2024年 実績	2025年 見通し
売上高	2,263	3,279	8,131	8,200
営業利益	6	▲3	405	450

中間決算の概況

●不動産部門で、前期に竣工した分譲マンションの引渡しが進んだことに加え、自社保有資産の売却や流通物件の買取再販が貢献した。さらに、ホスピタリティ部門では、宿泊や宴会需要の拡大が増収に寄与した。

●利益面は、売買仲介件数が減少し営業損失となった。

以上により、売上高は前年同期比44.9%増、営業損失3百万円（前年同期は営業利益6百万円）となった。

重要指標

	中間		通期	
	2024年 実績	2025年 実績	2024年 実績	2025年 見通し
不動産情報取得件数	655件	747件	1,056件	1,500件

通期業績見通し

●不動産部門では、今期より組成した不動産投資事業に注力し、流通取引の拡大を図る。加えて、前期に竣工した分譲マンションの完売を目指す。

●ホスピタリティ部門（ホテル・飲食）では企業・団体からのイベント・宴会・宿泊の需要獲得に引き続き注力する。

以上により、売上高及び営業利益とも通期計画を達成する見通し。

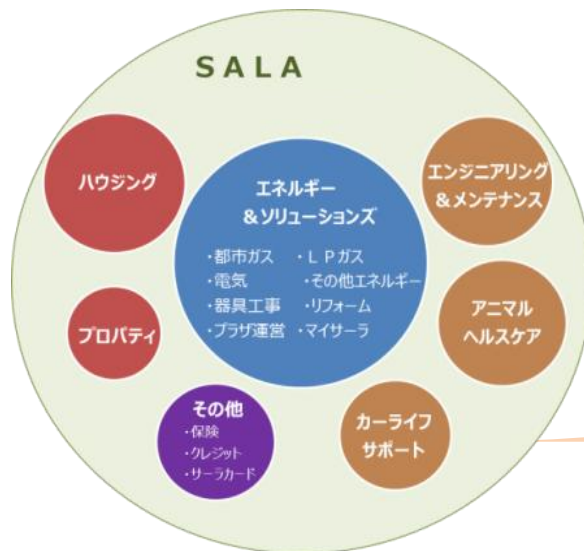
4. 中期経営戦略について

2030年の「暮らしのSALA」の確立に向け、 総合的な事業展開で住まい・ビジネスサポート事業の飛躍的成長を実現する

新たな
価値創造への
取組み

- 電力ビジネスの拡大
- 住まい分野の飛躍的成長
- 新たな事業領域「食・農」分野への参入

セグメントの集合体



住まいの仕事の再定義



第5次中期
経営計画

2030年 暮らしのSALAの確立



売上高2,800億円
営業利益120億円
ROE10%以上

創出される営業CFを原資に成長投資の加速と株主還元を強化 自己資本比率をコントロールし、資本収益性の向上を目指す

キャッシュイン

減価償却費
(500億円)

税引き後
営業利益
(500億円)

キャッシュアウト

成長投資
(500億円)

維持更新投資
(250億円)

株主還元
(250億円)

- ・ 電力ビジネス、住まい暮らしの飛躍的成長に向けた成長投資
 - ・ 2030年ビジョン及び中期経営計画に連動した新しい事業への成長投資
 - ・ M&Aやベンチャー企業とのアライアンスの積極活用
 - ・ 人的資本投資、DX投資
- 【KPI】 ROE10%以上（2030年）

- ・ 既存事業領域における基盤強化などの継続投資

- ・ 配当方針の見直し（2024年7月）
 - ・ 機動的な自己株式の取得
- 【KPI】 自己資本比率40～50%

現在の進捗状況

投資金額 (2023年11月期～2025年11月期中間時点)	
GX・新分野への投資	70億円
DX投資	16億円
人的資本投資	15億円
資本提携・M&A投資	46億円
合計	147億円

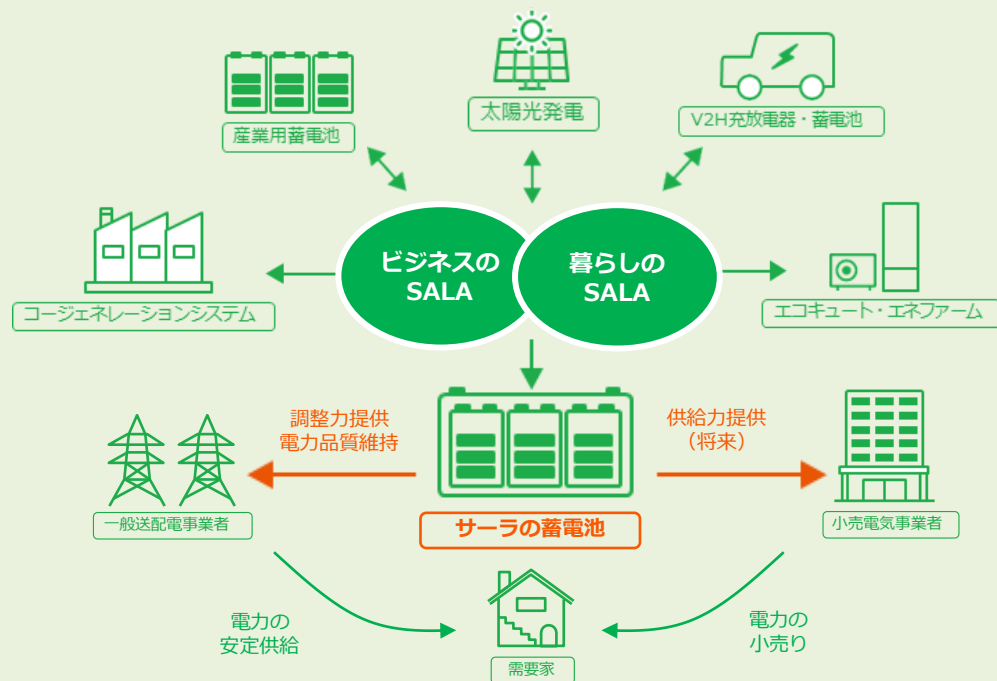
導管の取得25億円など約40億円

2025年11月期の年間配当32円予定
(前年比2円の増配)

再生可能エネルギー普及に向けた調整力を提供する系統用蓄電所を今期稼働予定 お客さまや地域社会のカーボンニュートラル化を支援する電力ビジネスの更なる拡大

- 系統用蓄電所の運営ノウハウを活用し、ソリューション提案を強化することで、お客さまのカーボンニュートラル実現を支援。併せて**電力小売事業拡大、再生可能エネルギーの電源開発を推進**し、2030年までに売上高を現状160億円から40%以上伸ばし230億円規模を目指す。
- 将来的には、**お客さまの節電量（ネガワット）を電力市場で売買するアグリゲーションビジネスへ参入**。
お客さまに電気料金削減メリットを還元することで新規顧客の拡大につなげ、新たな収益源として確立する。

【電力ビジネスイメージ】



ビジネスのSALAの展開

- ・ 蓄電池、コージェネレーションシステムの販売促進や更新
- ・ 電力需要を調整するデマンドレスポンスサービスの提供

▼
**お客さまに経済的メリットを還元し
新たな収益源とする**

暮らしのSALAの展開

- ・ 環境負荷低減と経済的メリットを実現するグリーンリフォームの拡大や環境価値による新たな価値提供

▼
他社との差別化を図る

サラー
浜松蓄電所

蓄電池種別：NAS®電池
出力：11,400kW
太陽光パネル：なし
容量(直流換算)：69,600kWh

サラー
東三河蓄電所

蓄電池種別：リチウムイオン電池
出力：1,999kW
太陽光パネル：700kW程度
容量(直流換算)：7,520kWh

安江工務店のグループ参入を契機に住まい分野のインテグレーションを実施 お客さま視点で最適なストック住宅ビジネスモデル構築に取り組む

- 安江工務店のグループ参入により、グループのリフォーム事業売上高は100億円から160億円規模に拡大。
- 名古屋・尾張地域を主力エリアとする同社との事業連携により、リフォーム事業の地域補完性を強化することに加え、**双方の強みを活かした事業シナジーを創出**することで、**お客さまへの対応体制と事業の質・効率性を高める**。



事業シナジー創出に向けた主な取組み

- ・ 安江工務店が保有するデザイン、設計、積算、施工、現場管理等バックヤード業務の高度なノウハウを既存リフォーム事業へ移植
- ・ 顧客基盤（約50万件）の相互活用による収益機会の拡大
- ・ 新たなマーケットの開拓（周辺エリアの拡大、高単価リフォーム）
- ・ 施工店や職人の共通化による人手不足への対応
- ・ 資材購入の共同化によるコストダウン

ストック住宅ビジネスモデル構築



2025年11月期の年間配当金は中間配当金16円と合わせて32円を予定 (前期より2円増配)

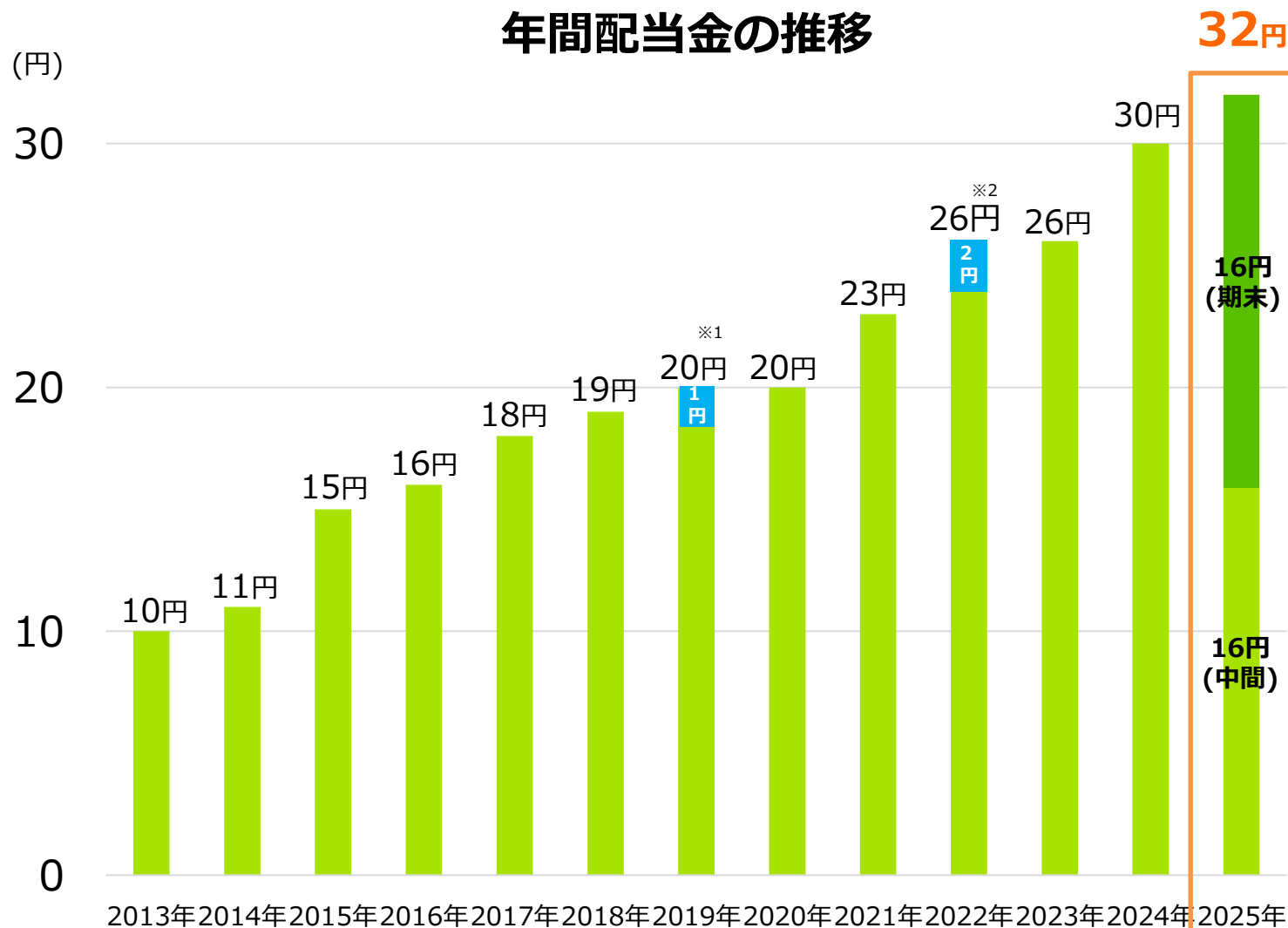
配当方針 ※2024年7月に改定

配当は前期以上を維持しつつ、かつ為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除く連結配当性向40%以上とします。また、自己株式の取得につきましては、市場環境や資本効率を勘案し機動的に実施します。

配当利回り： 3.4%

(2025年5月末時点)

年間配当金の推移



※1 サーラグループ創立110周年の記念配当 1円を含む ※2 当社設立20周年の記念配当 2円を含む

項目	2024年7月公表時	現在の進捗状況
開示情報の充実	・ ESG情報を充実した統合報告書の早期開示 ・ 有価証券報告書の株主総会前開示 ・ 英文サイト及び英文開示（適時開示情報、決算説明資料等）の充実 ・ 機関投資家向けの情報提供の拡充としてアナリストレポートの定期発行	・ 25年度版統合報告書を25年4月末に開示 ・ 有価証券報告書を株主総会前に開示（25年2月） ・ 英文サイトを24年11月にリニューアル 25年1月より適時開示の日英同時開示を開始 ・ アナリストレポートを25年2月末に発行
決算説明会 投資家面談 の充実	・ 個人投資家・機関投資家向け決算説明会（1月、7月） ・ 機関投資家との建設的な対話（個別面談）の拡充 ・ 投資家との対話で得られた意見を取締役会にフィードバック	・ 個人投資家・機関投資家向け決算説明会（1月、7月） ・ 機関投資家との建設的な対話（個別面談）の拡充（24年13回→25年は半期で9回実施） ・ 投資家との対話で得られた意見を取締役会にフィードバック（長期保有優遇制度を24年10月に開始） ・ 機関投資家からのコンタクトを希望する企業として24年12月に申請

5. 参考資料

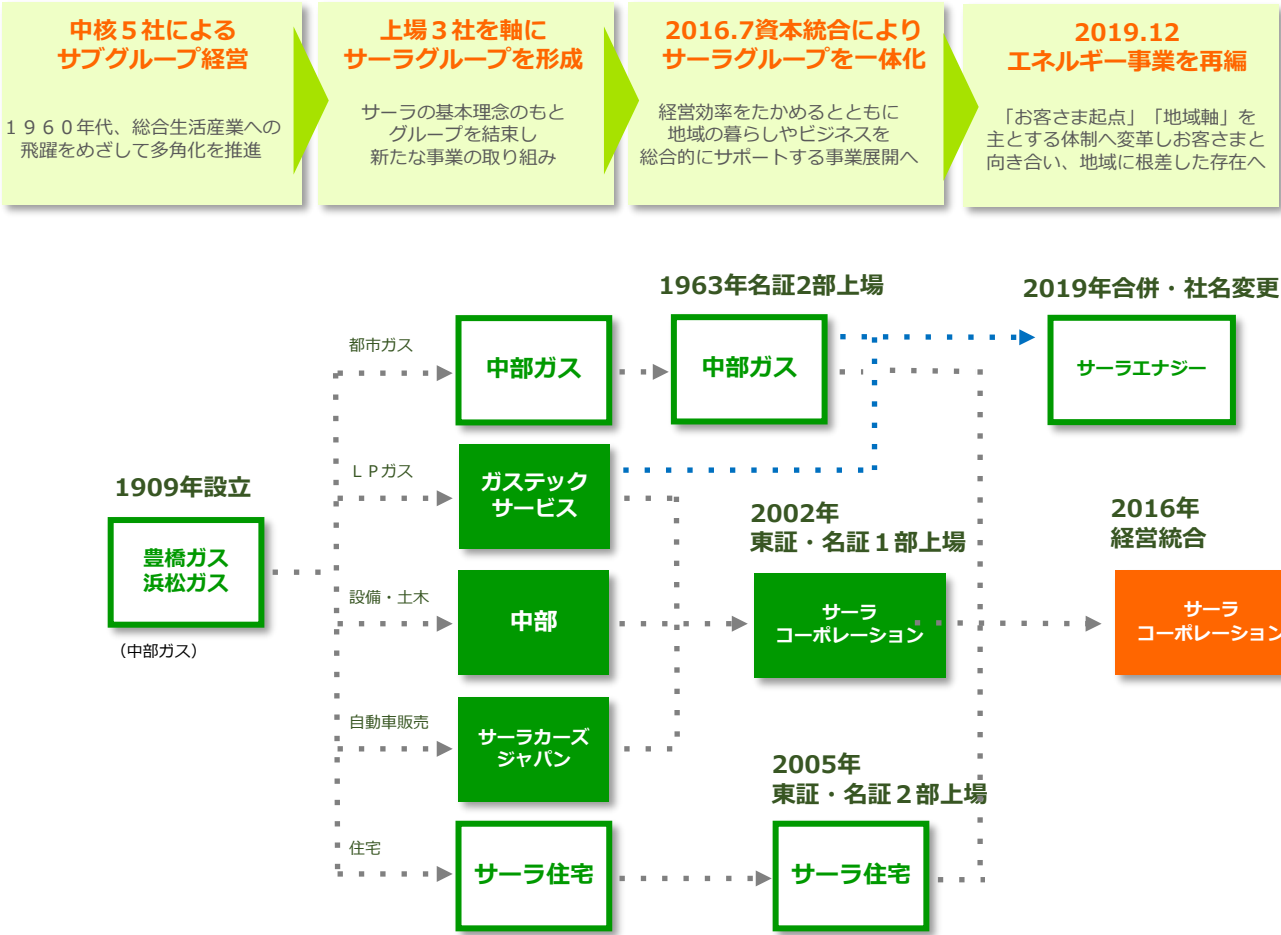
サーラグループの概要（１）会社概要

会社概要

（2024年11月30日現在）

商号	株式会社サーラコーポレーション
設立	2002年 5 月 1 日
本社所在地	豊橋市駅前大通一丁目55番地 サーラタワー
資本金	80億2,500万円
証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場
役員	代表取締役社長 兼グループ代表・CEO 神野吾郎 常務取締役 渡会隆行 取締役 榑林孝尚 取締役 鈴木敬太郎 取締役 大辻祥子 社外取締役 一柳良雄 社外取締役 大久保和孝 取締役(常勤監査等委員) 武川裕樹 社外取締役(監査等委員) 村松奈緒美 社外取締役(監査等委員) 安形哲夫
従業員数	約5,000名（連結）

沿革



サラーグループの概要（２）過去四半期財務データ

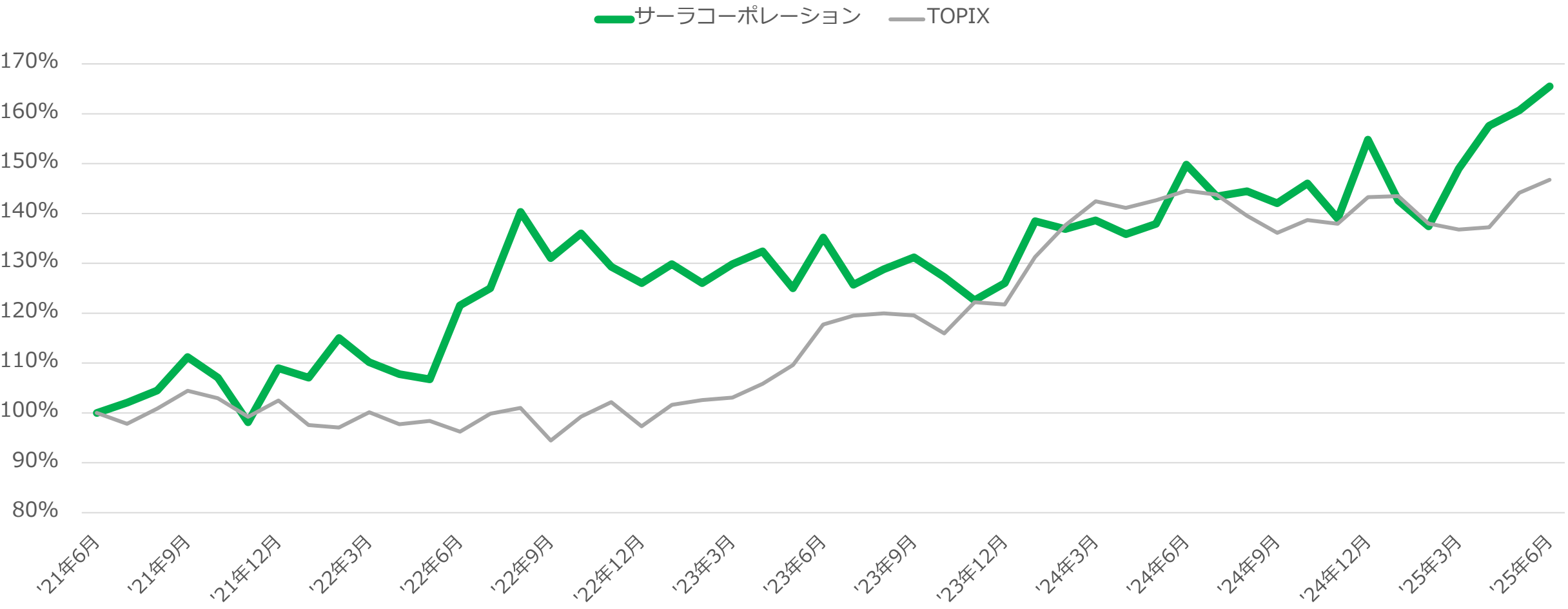
(単位：百万円)	2022年11月期					2023年11月期					2024年11月期					2025年11月期	
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q
売上高	58,455	59,821	54,744	61,827	234,848	64,154	61,821	55,314	60,768	242,059	59,166	59,730	57,528	64,072	240,498	65,986	65,267
売上原価	43,081	43,905	42,408	47,855	177,251	48,704	46,990	43,475	47,059	186,229	44,291	44,531	44,701	49,748	183,273	49,479	48,917
売上総利益	15,374	15,915	12,335	13,971	57,596	15,450	14,831	11,839	13,708	55,829	14,874	15,199	12,826	14,324	57,225	16,506	16,349
(売上高比率)	26.3%	26.6%	22.5%	22.6%	24.5%	24.1%	24.0%	21.4%	22.6%	23.1%	25.1%	25.4%	22.3%	22.4%	23.8%	25.0%	25.1%
販売費及び一般管理費	12,352	12,693	12,657	13,002	50,705	12,445	12,813	12,520	11,966	49,745	12,333	12,851	13,088	12,642	50,916	13,466	13,503
人件費	6,119	6,356	6,238	6,302	25,015	6,057	6,246	6,263	6,179	24,747	5,958	6,384	6,486	5,975	24,805	6,511	6,644
販促費	478	585	553	649	2,267	551	636	539	-26	1,701	459	466	530	461	1,916	410	443
広告宣伝費	231	163	235	186	817	204	175	215	250	846	232	163	354	230	981	361	305
賃借料	1,354	1,301	1,319	1,322	5,298	1,342	1,297	1,309	1,300	5,249	1,277	1,270	1,257	1,284	5,089	1,343	1,380
減価償却費	1,321	1,335	1,484	1,386	5,527	1,296	1,327	1,309	1,355	5,289	1,287	1,337	1,381	1,394	5,400	1,276	1,341
租税課金	349	393	297	341	1,381	284	416	281	357	1,339	280	401	286	331	1,300	350	420
その他	2,498	2,557	2,528	2,813	10,397	2,707	2,713	2,601	2,548	10,571	2,836	2,827	2,792	2,965	11,421	3,213	2,966
営業利益	3,021	3,222	-321	968	6,891	3,004	2,017	-680	1,742	6,083	2,541	2,347	-262	1,681	6,308	3,040	2,846
(売上高比率)	5.2%	5.4%	-0.6%	1.6%	2.9%	4.7%	3.3%	-1.2%	2.9%	2.5%	4.3%	3.9%	-0.5%	2.6%	2.6%	4.6%	4.4%
営業外収益	420	514	1,036	84	2,055	233	536	826	453	2,049	443	972	-13	816	2,218	583	-49
営業外費用	221	-73	79	118	345	344	-233	90	61	262	84	92	61	94	333	111	575
経常利益	3,220	3,810	635	934	8,601	2,892	2,787	55	2,133	7,870	2,900	3,226	-337	2,403	8,193	3,511	2,221
(売上高比率)	5.5%	6.4%	1.2%	1.5%	3.7%	4.5%	4.5%	0.1%	3.5%	3.3%	4.9%	5.4%	-0.6%	3.8%	3.4%	5.3%	3.4%
特別利益	45	39	92	263	441	9	2,403	79	19	2,511	39	23	36	12	111	85	11
特別損失	4	28	40	548	621	26	875	25	78	1,005	40	41	76	422	580	55	54
税金等調整前当期純利益	3,261	3,822	688	649	8,422	2,875	4,316	110	2,074	9,376	2,899	3,208	-377	1,993	7,724	3,541	2,178
法人税等	956	1,218	124	358	2,658	887	1,472	-83	849	3,126	910	823	-98	681	2,317	1,081	521
非支配株主に帰属する当期純利益	62	45	14	-40	81	36	46	38	29	151	51	17	45	42	157	85	-18
親会社株主に帰属する当期純利益	2,243	2,557	549	331	5,682	1,951	2,796	155	1,195	6,099	1,937	2,367	-324	1,269	5,249	2,375	1,676
(売上高比率)	3.8%	4.3%	1.0%	0.5%	2.4%	3.0%	4.5%	0.3%	2.0%	2.5%	3.3%	4.0%	-0.6%	2.0%	2.2%	3.6%	2.6%

サラグループの概要（3）過去四半期財務データ_セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)	2022年11月期					2023年11月期					2024年11月期					2025年11月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
売上高	58,455	59,821	54,744	61,827	234,848	64,154	61,821	55,314	60,768	242,059	59,166	59,730	57,528	64,072	240,498	65,986	65,267
エネルギー&ソリューションズ	30,824	28,898	26,938	29,972	116,634	39,127	32,210	28,253	27,526	127,117	33,682	30,643	27,280	27,894	119,502	35,848	32,161
エンジニアリング&メンテナンス	7,234	8,515	6,376	8,058	30,184	7,014	7,984	7,085	8,562	30,646	6,828	7,930	7,361	10,607	32,727	8,396	8,814
ハウジング	8,843	9,665	8,881	10,819	38,209	6,367	8,500	7,787	11,524	34,180	7,239	8,271	8,668	11,446	35,626	9,797	10,620
カーライフサポート	3,718	3,807	4,516	4,922	16,964	4,298	4,527	4,566	4,762	18,154	3,718	4,311	4,044	5,037	17,111	4,019	4,986
アニマルヘルスケア	6,351	7,161	6,211	6,265	25,989	5,850	7,038	6,136	6,096	25,122	6,183	6,884	6,292	6,162	25,523	5,781	6,595
プロパティ	891	1,173	1,431	1,232	4,728	1,028	1,103	1,058	1,814	5,005	1,024	1,239	3,487	2,380	8,131	1,642	1,636
その他・調整額	592	600	388	555	2,136	468	455	425	481	1,831	489	449	393	544	1,876	499	453
営業利益	3,021	3,222	-321	968	6,891	3,004	2,017	-680	1,742	6,083	2,541	2,347	-262	1,681	6,308	3,040	2,846
エネルギー&ソリューションズ	2,627	1,892	-586	62	3,996	2,855	1,201	-1,034	-32	2,989	2,415	1,583	-591	-440	2,966	2,693	2,386
エンジニアリング&メンテナンス	412	997	266	517	2,192	565	818	610	664	2,659	625	690	505	821	2,643	1,169	802
ハウジング	39	171	63	294	568	-342	-57	-97	640	142	-190	9	89	838	747	-195	138
カーライフサポート	9	-3	17	218	241	-86	-47	-53	207	19	-191	-46	-31	334	64	-341	-351
アニマルヘルスケア	199	315	66	88	669	109	168	-11	47	313	22	148	-71	39	138	-86	3
プロパティ	-136	-52	-62	-167	-418	-43	25	-3	434	411	-13	20	44	353	405	-10	6
その他・調整額	-129	-98	-86	-44	-358	-53	-90	-88	-220	-453	-126	-58	-207	-265	-656	-189	-138

サーラグループの概要（４）株価推移

直近４年の株価パフォーマンス



※ 2021年6月の株価を100とする。2025年6月30日終値まで反映。

サーラグループの概要（5）各種指標

	2020年11月期	2021年11月期	2022年11月期	2023年11月期	2024年11月期
EPS【1株当たり当期純利益】（円）	55.86	83.13	89.12	95.46	81.90
BPS【1株当たり純資産】（円）	961.01	1,027.98	1,128.69	1,206.92	1,308.63
DPS【1株当たり配当金】（円）	20.0	23.0	26.0	26.0	30.0
売上高営業利益率	2.8%	2.9%	2.9%	2.5%	2.6%
ROE【自己資本当期純利益率】	5.9%	8.4%	8.3%	8.2%	6.5%
配当性向	35.8%	27.7%	29.2%	27.2%	36.6%
総資産回転率（倍）	1.1	1.2	1.2	1.3	1.2
自己資本比率	32.1%	34.9%	38.2%	40.8%	41.5%

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている数値計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ先

株式会社サーラコーポレーション総務部総務グループ

TEL : 0532-51-1182 Email : ir@sala.jp